

人間発達探究プログラム・心理学分野

近年の学校現場では、子どもの多様な発達の理解に基づく教育的支援が求められています。また、「非認知能力」「学びに向かう力」「自己調整力」など、学習を下支えする能力の育成に注目が集まっており、このような発達や能力の解明においては心理学研究の知見が大いに生かされています。

さらに、生徒指導や教育相談の実践において、子どもの問題行動の背景にある意味や内的葛藤についての理解、子どもたちと関わる際に教師自身に生じる様々な情緒的課題にも、心理臨床的な視点を生かすことができます。

人間発達探究プログラムの心理学分野では、これらをはじめとした学校教育を取り巻く様々な課題について、発達心理学、学習心理学、臨床心理学の領域を中心に学修・研究を行います。その上で、心理学の専門的な知識と技能に精通し、子どもの健やかな育ちと豊かな学びを支援する高度な専門性を持った教員の養成をめざしています。

発達心理学

心理発達の視点を中心に、発達の観点から学齢期の子どもや子どもを取り巻く様々な課題を理解し、教師としての支援のあり方について探究します。

関連科目例：認知発達と学習の心理学、人間発達セミナー

学習心理学

基礎的な実験に基づく知見や教育実践での応用を志向した知見を幅広く学ぶことで、学習心理学に関する実証的なアプローチを修得しつつ、教育現場での創意工夫につながる学修をめざします。

関連科目例：教育実践研究セミナー

臨床心理学

臨床心理学的なアセスメントや事例検討法（子どもと教師の情緒的交流の理解と探索のためのディスカッション）を活用して、学校現場における子どもの心の深層や関係性への理解を深めます。

関連科目例：子どもの臨床心理学的アセスメントと支援、生徒指導・教育相談実践演習

臨床発達心理士資格の受験要件に必要な授業科目を開講しています。

（一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構認定資格：<https://www.jocdp.jp/>）

臨床発達心理士資格は、発達心理学をベースにしながら、発達に関わる臨床的支援に携わる専門家としての認定資格です。

心理職や研究者などの心理の専門家だけでなく、学校現場の教師にも有資格者が多いのが特徴で、例えば教師として心理的支援ニーズのある幼児・児童・生徒への発達支援、学校内外組織やスクールカウンセラーとの連携など、学校現場における心理的支援において力を発揮しています。

大学院修了を基本とする資格で、本学大学院では人間発達探究プログラムにおいて資格の受験要件に必要な授業科目を開講しています。

ホームページはこちら

(<https://psychology.kyokyo-u.ac.jp/>)

